

表1 1894年から1945年まで日本がかかわった戦争

年次	戦争名	日本			相手側		合計	出典
		動員数	戦死者	負傷者	戦死者	負傷者		
1894-5	日清戦争	240,000	17,282	170,000				* 2、* 5
1895.5-10	台湾征伐 (台湾共和国征伐戦)	50,000	164	4,624				* 4
1900	義和団事件	22,000						* 7
1904-5	日露戦争	250,000	88,000	300,000	270,000			* 2
1907-11	朝鮮軍隊反乱鎮圧				17,000	37,000		
1914-18	第一次世界大戦	(6500万人)	(1000万人)	(2100万人)				
1918-22	シベリア出兵	73,000						
1927	第一回山東出兵	4,200						* 3
1928	第二回山東出兵	25,000	5,000					* 1
	第三回山東出兵	15,000			4,000			* 1、* 3
1930	台湾「霧社事件」	2,000	134	215	1,000			* 5
1931	満州事変	15,000						
	満州占領		1,169					* 1
1932	上海事件	30,000						
1937-45	日中戦争	3,200,000	500,000		7,730,000	1000万人		* 1
1938	張鼓峰事件	20,000						
1939	ノモンハン事件	20,000	16,000	未調査	9,800			
1939-45	第二次世界大戦 日本	9,700,000	2200万人 2,000,000 市民50万人	5640万人	1882万人	←東アジア地域総計		* 1

昭和史研究会編『昭和史事典』講談社、1984年

高柳・竹内編『日本史事典』角川書店、1966年

中村新太郎編著『日本歴史の研究事典』小峰書店、1967年

* 1 = 黒羽清隆著『日中15年戦争』教育社、1977年

* 2 = 『図説・昭和の歴史1 昭和史の源泉』集英社、1979年

* 3 = 『新編・日本史辞典』京大日本史辞典編纂会編、1990年

* 4 = 『日本全史』、1991年

* 5 = 『岩波・日本史辞典』、1999年

* 6 = 『一億人の昭和史13 明治(中)』、2000年

* 7 = 小林英夫著『日本のアジア侵略』、山川出版社、1998年

表1は、私の提案した不十分な表を、生駒敬氏が補足してくださったものである。

表2は、* 1に基づき生駒氏が作成されたものである。生駒氏に対して深い謝意を表する。